

韓国環境部プレスリリース 2020 年 3 月 2 日付

## 京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 291-298 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1341845&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は、2月29日と3月1日に江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョングン）旺澄面（ワンジンミョン）および百鶴面（ペツカンミョン）広域フェンスの中で発見された野生いのしし死体8個体からASFウイルスが検出されたと、3月2日明らかにした。

□国立環境科学院は3月2日死体8個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョングン）115件、漣川郡（ヨンチョングン）93件、坡州市（パジュシ）68件、鉄原郡（チョルウォングン）22件、全国で合計298件の野生いのししASF陽性事例となった。

○野生いのししASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回の陽性個体が発見された地点のうち華川邑（ファチョンウプ）東村里（トンチョンリ）は、2月25日陽性事例があった豊山里（プンサンリ）の地点と直線距離で6km離れた所で、広域フェンスにより北漢江（プッカングン）と楊口郡（ヤンググン）が遮断された地域であった。この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、捜索を強化して死体を速かに除去する」と明らかにした。

以上